

荷主等とのパートナーシップによる 構造改善実証実験事業 (平成21年度版)



荷主等とのパートナーシップによる構造改善実証実験事業

1. 補助対象事業者・対象事業

21年度補正予算額

5.1億円

対象者： 一般貨物自動車運送事業者、第二種貨物利用運送事業者、特定貨物自動車運送事業者及び貨物軽自動車運送事業者

対象事業： 荷主等とのパートナーシップ(複数事業者によるアライアンスを含む)を構築し、事業の構造改善に資する実証実験

- (例)
- ▶ 積載率や実車率等の向上のための実証実験
 - ▶ 輸送形態見直しによる消費燃料軽減のための実証実験
 - ▶ 提案型の物流一括請負のための実証実験
 - ▶ ユニークビジネス開拓のための実証実験
 - ▶ 上記以外の輸送効率、燃費向上等のための実証実験

対象経費： 施設使用料、運行経費、人件費、情報システム費、調査費など、実証実験に必要な経費が対象。(ただし、備車費や他の補助制度を利用する施設整備費など除外されるものがあります。詳しくはお尋ねください。)

また申請書作成時に見積書、実績報告時に請求書・領収書がそれぞれ必要です。

補助額： 実証実験経費の2分の1

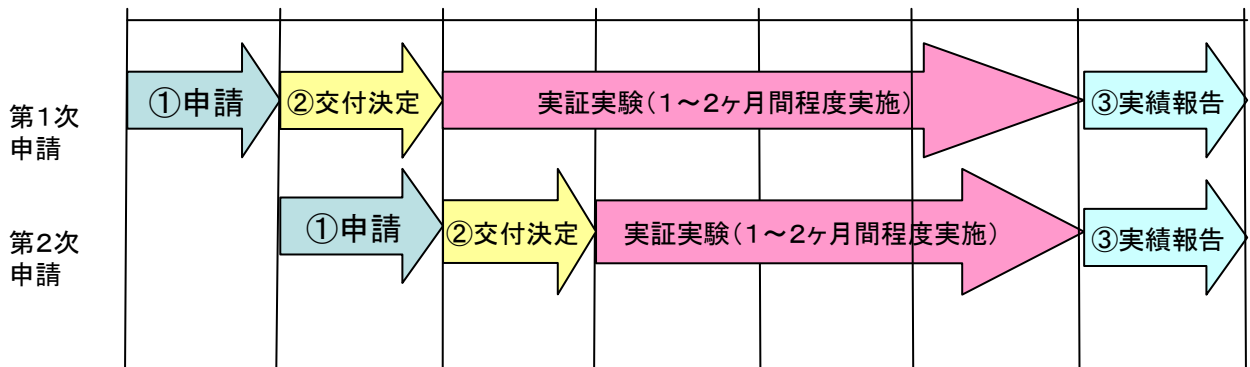
※応募者多数の場合は減額される場合があります

※機器導入などで他の国の補助金を受けるものは対象外となります。

- 注意点：**
- ①実証実験に必要な物品購入等の発注は交付決定以後となります。
 - ②実証実験終了後30日または2月28日のどちらか早い日までに実績報告が必要です。
 - ③構造改善の成果を示すことができない場合は補助金を交付できません。

2. スケジュール

H21.8.1 H21.8.31 H21.9.30 H21.10.31 H21.11.30 H21.12.31 H22.1.31 H22.2.28

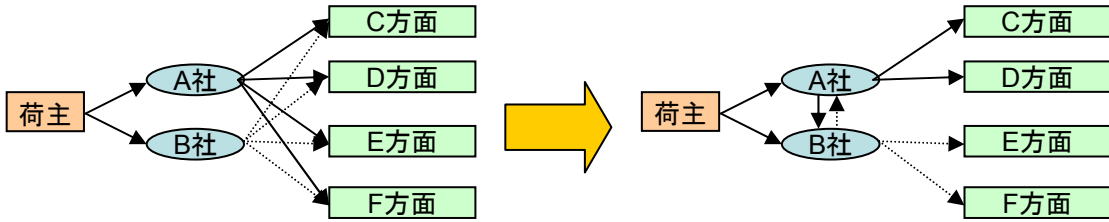


④交付額の確定:3月中、補助金支払い:4月中

昨年度の実験例

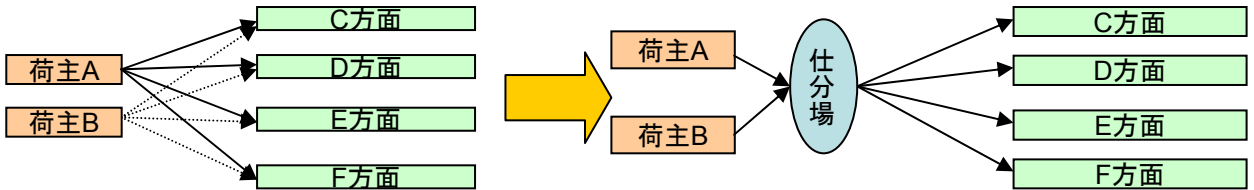
1. 共同輸配送

- ・共同他社と担当配送エリアを決め、共同して輸配送を行うことで効率的に運行



2. 複数荷主の積合せ

- ・複数荷主の在庫管理を行うとともに、積みあわせ運行を行う



3. 施設整備

- ・配車システムを導入し、貨物の量に合う車両を効率的に配車
- ・貨物のバーコード管理システムを導入し、貨物の誤出荷を防止
- ・リアルタイム車両位置把握システムを導入し、荷主側作業員を効率的に配置



4. 車両の改良

- ・荷台の幅を広げ、積載効率を改善する

5. 一括請負

- ・倉庫内作業を含めて物流の一括請負

本実証実験についてのお問い合わせは下記運輸局貨物課 またはトラック協会まで

北海道運輸局自動車交通部 貨物課	札幌市中央区大通西10丁目 札幌第二合同庁舎	電話:011-290-2743
東北運輸局自動車交通部 貨物課	仙台市宮城野区鉄砲町1 仙台第四合同庁舎	電話:022-791-7531
関東運輸局自動車交通部 貨物課	横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎	電話:045-211-7248
北陸信越運輸局自動車交通部 貨物課	新潟市中央区万代2丁目2-1	電話:025-244-7579
中部運輸局自動車交通部 貨物課	名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館	電話:052-952-8037
近畿運輸局自動車交通部 貨物課	大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第4号館	電話:06-6949-6447
中国運輸局自動車交通部 貨物課	広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館	電話:082-228-3438
四国運輸局自動車交通部 貨物課	高松市松島町1丁目17-33 高松第二地方合同庁舎	電話:087-835-6365
九州運輸局自動車交通部 貨物課	福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎新館	電話:092-472-2528
沖縄総合事務局運輸部 陸上交通課	那覇市おもろ町2丁目1-1 那覇第二地方合同庁舎2号館	電話:098-866-1836